



新しい市民主義という現実

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

SNS などインターネットにおいて拡散する現実には市民が新しいプレゼンスを現実へ構築するものである。

これは大衆という、新しい勢力が現実へ存在することを意味する。これは20世紀のアメリカにおける市民革命が新しい現実を与えられたことかもしれない。

これはネットと、ネット社会が現実において主流なプレゼンスを構築し、社会と生活がその新しいポテンシャルを有することを意味する。

これらは、市民がリードした新しい世界の創造を有するものと考えられる。市民主義という現実には大衆が世界を行うという新しい戦いであるのかもしれない。

これらネットが、社会と生活と緊密に結びつくことは、新しいツールとしてのネット社会が存在し、これらは革命と人々の新たな自由という現実を未来へ模索するのかもしれない。

これらは大衆の自由と大衆が創造する未来という新しい現実を見出すことができる。

これらは、拡大する大衆の新しい現実、大衆が先導する新しい現実を有するのである。

これらの現実にはフランス革命における自由という理想を新たに大衆が世界と対峙することを予測させるものである。

これら情報の拡大や共有は、その生活のキャパシティを拡大させるものでもある。これら現状の変化を大きさと速さは、大衆はこれに融合し、その活用は新たな変化を生むものである。

これら変化という現在の趨勢は、過去における恐竜と哺乳類の絶滅と繁栄という現実とコントラストするものである。